

electron microscopic study. *Anat. Rec.*, 251 (3):384-391, 1998.

- 5) Ozaki H.S., and Wahlsten D.: Timing and origin of the first cortical axons to project through the corpus callosum and the subsequent emergence of callosal projection cells in mouse. *J. Comp. Neurol.*, 400(2):197-206, 1998.

◆ 学会発表

- 1) 佐々木千博, 荒館 忠, 松浦信康, 中嶋範行, 生方 信, 児島弘之, 大原光晴, 近松義博: メイラード反応阻害物質探索系の改良及びその応用. 日本農芸化学会1998年度大会, 1998, 3, 名古屋.

薬 学 部 生 物 学

教 授 菅 野 延 彦

◆ 原 著

- 1) Hibino, Y., Ohzeki, H., Hirose, N. and Sugano, N.: Involvement of phosphorylation in binding of nuclear scaffold proteins from rat liver to a highly repetitive DNA component. *Biochim. Biophys. Acta*, 1396: 88-96, 1998.
- 2) Hibino, Y., Ohzeki, H., Hirose, N., Morita, Y. and Sugano, N.: Involvement of DNA methylation in binding of a highly repetitive DNA component to nuclear scaffold proteins from rat liver. *Biochem. Biophys. Res. Commun.*, 252: 296-301, 1998.

◆ 学会報告

- 1) 日比野康英, 大関洋光, 広瀬紀子, 森田泰弘, 菅野延彦: 高度反復配列DNAの構造と転写活性化. 日本薬学会第118年会, 1998, 3, 京都.
- 2) 日比野康英, 森田泰弘, 広瀬紀子, 大関洋光, 菅野延彦: 細胞核構成蛋白質matrin 3のcDNAクローニング. 日本薬学会北陸支部第98回例会, 1998, 6, 金沢.
- 3) 広瀬紀子, 日比野康英, 大関洋光, 森田泰弘, 菅野延彦: メチル化による高度反復配列DNAのmatrin 3との結合能の調節. 第71回日本生化学会大会, 1998, 10, 名古屋.
- 4) 日比野康英, 広瀬紀子, 森田泰弘, 菅野延彦: 細胞核骨格構成蛋白質P130のcDNAクローニング. 第71回日本生化学会大会, 1998, 10, 名古屋.

- 5) 平岡良隆, 日比野康英, 菅野延彦: シスプラチン損傷DNAに結合するタンパク質のcDNA. 第71回日本生化学会大会, 1998, 10, 名古屋.

- 6) 中川育也, 日比野康英, 大橋康宏, 菅野延彦: マンネンタケ(霊芝)菌糸体より得られる多糖蛋白質画分(MTP2)によるマウス脾細胞のサイトカイン産生と細胞傷害性の増強. 第57回日本癌学会総会, 1998, 10, 横浜.

- 7) 中川育也, 日比野康英, 大橋康宏, 菅野延彦: マンネンタケ(霊芝)菌糸体培養基より得られる多糖蛋白質画分(MTP2)の細胞傷害活性の増強. 第11回日本BRM学会学術集会総会, 1998, 10, 東京.

- 8) 小前憲久, 日比野康英, 菅野延彦: 高温培養で誘発される小核に関するFISH法及びスペクトラルカリオタイプング法による解析. 日本薬学会北陸支部第99回例会, 1998, 11, 金沢.

- 9) 大橋康宏, 鎬木淳平, 中川育也, 日比野康英, 菅野延彦: 椎茸菌糸体培養基より得られる多糖蛋白質画分(LAP1)のマウス脾細胞における細胞傷害性の増強. 第1回日本代替医療学会, 1998, 11, 金沢.

統 計 ・ 情 報 科 学

教 授 折 笠 秀 樹

◆ 著 書

- 1) 折笠秀樹: 医療機関からみた新GPMSP市販後臨床試験の実際. 「新GPMSP-市販後調査業務と市販後臨床試験の実際」, 27-53, 技術情報協会, 東京, 1998.
- 2) 折笠秀樹: 虚血性心疾患における大規模臨床試験-治療法選択における大規模臨床試験とメタアナリシスの利用. 「臨床心臓病学」北島顕監修, 99-104, インターメディカル, 東京, 1998.
- 3) 折笠秀樹: メタアナリシス研究の結果の読み方. 「脳卒中学」山口武典他編, 298-303, 医学書院, 東京, 1998.
- 4) 折笠秀樹: 薬効の多施設臨床試験-メタアナリシス. 「医療情報学-第3巻」日本医療情報学会編, 131-136, ネットワーク, 東京, 1998.
- 5) 折笠秀樹: 第2章-最善の根拠を探す. 「根拠に基づく医療」久繁哲徳監訳, 37-78, オーシーシー, 東京, 1998.
- 6) 折笠秀樹監訳: 臨床試験とは何か. 南江堂, 東

京, 1998.

◆ 原 著

- 1) 折笠秀樹: プラシーボ対照試験と実薬対照試験の間で脳循環代謝改善薬の有効率比較. 臨床薬理 29: 73-74, 1998.
- 2) 古謝由紀子, 折笠秀樹: フェノテロール吸入剤の安全性について—過去の安全性に基づく総合評価の試み. 臨床薬理 29: 37-38, 1998.
- 3) 多田春江, 折笠秀樹: 脳卒中患者に対してQOLを評価した論文のクリティカル・アプレイザル. 臨床薬理 29: 285-286, 1998.
- 4) 太田和夫, 佐中 孜, 平沢由平, 中川雅夫, 中川成之輔, 秋澤忠男, 折笠秀樹: KM-311 (一般名: レビパリンナトリウム) の安定期血液透析患者に対する長期臨床試験. 臨床医薬 14: 533-566, 1998.

◆ 総 説

- 1) 折笠秀樹: 医学統計学と研究デザイン. Info Medica 1月号: 4-5, 1998.
- 2) 折笠秀樹: 臨床試験の有すべき条件. 循環器科 43: 277-283, 1998.
- 3) 折笠秀樹: 科学的な研究へ向けての統計学. 脂質栄養学 7: 31-40, 1998.
- 4) 折笠秀樹: 臨床論文の読み方—疑問の種類に応じて論文の質を吟味する. 日経メディカル 7月号: 113-115, 1998.
- 5) 折笠秀樹: どうやって研究デザインを立てるのか. InfoMedica 8月号: 16-17, 1998.
- 6) 折笠秀樹: 癌化学療法のメタアナリシス. 癌と化学療法 25: 1641-1649, 1998.
- 7) 折笠秀樹: 臨床医に必要な統計学 (1). 診断と治療 86: 1862-1868, 1998.
- 8) 折笠秀樹: 臨床医に必要な統計学 (2). 診断と治療 86: 1869-1874, 1998.
- 9) 折笠秀樹: 疑問に応じてデザインは変わる. InfoMedica 12月号: 16-17, 1998.

◆ 学会報告

- 1) 折笠秀樹: 最近の臨床試験とその問題点. 第26回日本行動計量学会, 1998, 9, 東京.
- 2) 泉 陸一, 野田起一郎, 宇多川康博, 梅咲直彦, 奥田博之, 河野一郎, 杉森甫, 灘澤憲, 西田正人, 野口 浩, 長谷川和男, 伏木弘, 山本嘉一郎, 折笠秀樹: 子宮頸がんに対する5-FU補助化学療法の子後改善効果. 第36回日本癌治療学会総会, 1998, 10, 福岡.
- 3) Origasa H.: Exploring the relationship between oral contraceptives and cervical

cancer: a meta-analysis. Asian Clinical Trials Conference 1998, 10, Hong Kong.

- 4) 折笠秀樹: 薬物療法の評価 (招待講演). シンポジウム「臨床データ評価法の新しい展開」, 第12回日本エム・イー学会秋季大会, 1998, 11, 新潟. [医用電子と生体工学 36(秋季特別号): 17-19, 1998.]
- 5) 折笠秀樹, 横山光宏, for the JELIS Study Group: 臨床試験参加メリットに関する意識は医師と患者の間で異なる. 第4回日本薬剤疫学会学術総会, 1998, 11, 東京. [薬剤疫学 3 (Suppl): S46, 1998.]
- 6) 折笠秀樹, 横山光宏, for the JELIS Study Group: 臨床試験に関する医師患者アンケート. 第19回日本臨床薬理学会, 1998, 11, 大分.
- 7) 折笠秀樹: 医薬品の臨床試験のデザイン (シンポジウム「臨床試験の国際化: 質の向上を目指して」). 第19回日本臨床薬理学会, 1998, 11, 大分.
- 8) Origasa H.: Simulation study of the efficiency of tests with few subjects per center in multicenter trials. The 19th International Biometric Society, 1998, 12, Cape Town.

◆ その他

- 1) 折笠秀樹: JELIS研究の現状—Coordinating centerからの報告. Atherothrombosis. 1(1): 42-44, 1998.
- 2) 折笠秀樹: JELIS研究の現状—JELIS研究の登録割付けにおける現状報告. Atherothrombosis. 1(2): 43-44, 1998.
- 3) 折笠秀樹: JELIS研究の方法論に関する質問に答えて. Atherothrombosis. 1(3): 39-40, 1998.
- 4) 折笠秀樹: JELIS研究の現状報告とアンケートの速報. Atherothrombosis. 1(4): 49-52, 1998.
- 5) 岩本安彦, 内潟安子, 折笠秀樹: 糖尿病の医療経済—合併症別糖尿病医療費の分析. 平成9年度厚生省長期慢性疾患総合研究事業・糖尿病調査研究報告書, 35-38, 1998.
- 6) 折笠秀樹: 臨床試験に関わる各種検定法概説. 関西臨床腫瘍研究会, 1998, 11, 大阪.